

競 技 上 の 確 認 事 項

大会競技委員長

1. 競技規則の確認

2025年度 公益財団法人 日本バレーボール協会の定める6人制競技規則による。但し、別に定める小学生バレーボール競技規則を採用する。

2. 競技方法について

男子の部12チーム、女子の部16チーム、混合8チームによる全試合3セットマッチのトーナメント方式で行う。

3. チーム編成について

- (1) チームスタッフを変更する場合は所定の用紙を使用し、当日受付に提出する。
- (2) 試合時にフロアへ入場できるのは、当日エントリーされた者のみとする。毎大会、応援、視察等する方が散見されるため、大会運営上、施設管理や保安上の問題が生じ、また、試合進行の妨げにもなることから、関係者以外の出入りを禁止する。
但し、合同練習時、隣接コートへのボール侵入防止のため、チーム関係者がフロアへ入場することは認めるが、球出し等の指導は不可とする。

4. 試合球について

男子・混合：ミカサ（V400W-L） 女子：モルテン（V4M5000-L）

5. 競技服装について

- (1) 選手のユニフォーム（ジャージ、パンツ、ソックス）は、形状、色、及びデザインをチームで統一する。
- (2) 混合チームのユニフォームは、男女で違うユニフォームを着用し、番号が重ならないようにする。ただし、違うユニフォームを準備できない場合は、ソックスの色を変えるかまたは男子・女子のいずれかが識別用バンドを腕か足首に付けて一目で判別できるようにする。
- (3) ユニフォームからはみ出すスパッツ、アンダーウェア等は、チームで統一されていることが望ましい。

6. ベンチスタッフの服装について

- (1) ベンチスタッフは、チームで統一された服装でなければならない。
- (2) 統一された服装であっても、タンクトップのような形状のシャツ類、短パン、ハーフパンツは許可されない。
- (3) 試合中、左胸部に規定の監督、コーチ、マネージャー章をそれぞれ着けなければならない。
- (4) 小学生がベンチスタッフとして入る場合、短パン、Tシャツを認める。Tシャツの色は他のベンチスタッフと違ってよい。

7. 試合進行について

- (1) 試合開始時刻は、プログラムに記載の通り第1試合のみ設定する。
- (2) 各チームの最初の試合前は、15分間の合同練習後にプロトコールに入る。
- (3) 各チームの第2試合目以降は、5分間の合同練習とする。
- (4) 試合が連続する場合は、大会本部よりプロトコール時間をアナウンスする。
- (5) 試合間のチーム移動は（コートへの入退場）等は、コート委員やアナウンスの指示に従う。
- (6) 試合終了後、チーム監督とレフェリーはフェアプレーの精神で「握手」を交わす。

8. 試合中について

- (1) 監督、コーチ、マネージャーは、子どもの健全育成を目指す指導者としての自覚をもち、不適切な行為そのものはもちろん、誤解を招くような行為も厳に慎む。
- (2) 監督は、ボールデッド間に、立ち上がってコート内の選手に必要な指示を与えることができる。このことは、監督がみだりに立ち上がる行為を容認するものではない。また、ベンチスタ

ップが自然発生的に喜びの表現として偶発的に立ち上がる行為は許容範囲であるが、監督以外が、毎回のようには立ち上がる行為は認められない。さらに、監督が、選手とハイタッチをしたり、飛び跳ねたりする行為及び、相手を威嚇する行為も認められない。

- (3) うちわ等はセット間及びタイムアウト中のクールダウンにのみ使用できる。
- (4) マスコットのぬいぐるみ、千羽鶴等) やメガホン、キャンプカートの持ち込みを禁止する。
- (5) 水筒やスクイズボトルを直接床に置かないこと。
- (6) 携帯電話やトランシーバー、タブレット等の電子機器の使用は禁止する。

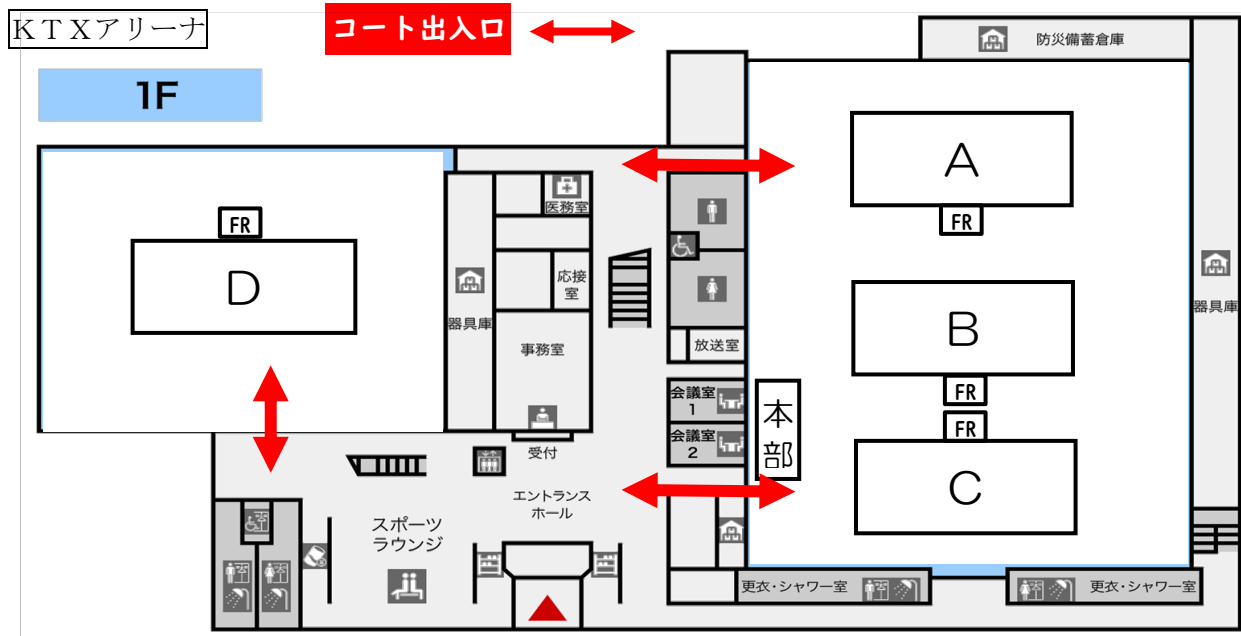
9. 応援マナーについて

- (1) 応援マナーの厳守は、監督の責任において徹底させる。相手への威嚇、審判団へのクレーム、あるいは類似した行為は慎み、積極的に感謝と称賛の意を表すように努める。
- (2) 立っての応援を禁止する。
- (3) 横断幕は、試合をしているチームのみ掲示を許可し、観覧者の視界を遮ることがないように手摺りの下部に紐等を使用して固定すること。
- (4) のぼりは、観覧席の最後部に紐等を使用して立てる。
- (5) 鳴り物（太鼓やラッパなど大音量の出るもの）の使用やうちわ等用具類を叩いての応援や施設等を叩いての応援は禁止する。
- (6) K T Xアリーナのサブアリーナでは、メガホンの使用を禁止する。
- (7) カメラなどのフラッシュ撮影は禁止する。

10. その他

- (1) 用具、施設、設備等の消毒は、各チーム・個人の判断により行う。
- (2) 試合開始・終了時の挨拶は、レフェリーの吹笛でネットに近付き、相手選手と握手する。
- (3) ロビー等でボールを使用したり、アップをしたりしないようにする。

11. 競技コートについて



12. 座席について

前1列は該当コート応援のために空けておく。

